

滋賀県がん診療連携協議会・第1回相談支援部会

日時：平成26年6月26日（木）17：30～19：00

場所：県立成人病センター東館1F 講堂

【部会長】成人病センター 鈴木副院長

【副部会長】大津赤十字病院 芥田部長、市立長浜病院 伏木部長

【部会員】滋賀医科大学附属病院 喜多下看護師、
大津赤十字病院 がん相談支援センター 佐川看護師、
成人病センター がん相談支援センター 三輪主幹、
公立甲賀病院 がん相談支援室 柴田室長補佐、
彦根市立病院 がん相談支援センター 田中、
市立長浜病院 がん相談支援センター 新川副センター長、
大津市民病院 地域医療連携室 松井室長、草津総合病院 吉村課長、
済生会滋賀県病院 社会福祉事業課 川添課長補佐、
近江八幡市立総合医療センター 地域医療課 嶋田、
長浜赤十字病院 医療社会事業課 寺村、滋賀県歯科医師会 住井、
滋賀県薬剤師会 渡邊委員、滋賀県歯科衛生士会 長谷川、
滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井会長、
滋賀県がん患者団体連絡協議会 藤田、滋賀県健康医療福祉部 奥井副主幹、
滋賀県高島保健所 雨森主幹、成人病センター 嶋田主査

【事務局】滋賀県立成人病センター 石見参事

【欠席部会員】東近江総合医療センター 山脇

【オブザーバー】滋賀県立成人病センター 吉田副部長、滋賀県立成人病センター 岡村

部会長挨拶

（鈴木部会長）

定刻を過ぎましたので始めさせていただきます。私部会長の鈴木でございます。皆さん今日はお忙しいところ遠いところ、ご参集いただきましてありがとうございます。さて国のほうでは第2期のがん対策推進基本計画、ここにおきましてはこれまでの器ものから質をしっかりと、特に相談支援センターに関しましては、なかなか難しいですが質の評価もしていきますよと、そういうところが組み込まれました。それをうけて1月10日の局長通知、拠点病院の要件に関しまして、相談支援に関してたくさん宿題をいただいております。

何よりこの間滋賀県におきましてはチーム医療が非常にまとまっておりまして、こういった課題についてもみんなで考えられる体制が整いつつあるのは非常に喜ばしいことです。本日はご覧のとおり盛りだくさんでございますが、90分を目途に会議を進めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく願います。

早速議題のほうにうつらせていただきます。1番、相談支援部会の取組内容およびスケジュール、PDCAサイクルの確保について、よろしくお願いいたします。

1 相談支援部会の取組内容およびスケジュール、PDCAサイクルの確保について

(事務局)

それでは説明させていただきます。資料 1、2 ページ、PDCA サイクルに関する要約をご覧くださいと思います。まず 1 ページ、26 年度の相談支援部会の取組内容および全体スケジュールということで、取組事項別に 6 つに分かれております。まず一番目、がん相談 Q&A ということで今回第 1 回の部会で平成 26 年度の内容の更新ということですが、修正必要箇所の検討をすることになっております。第 2 回で更新内容の検討をしまして、第 3 回で来年度の取組みの検討をしようということですので。Q&A 更新作業については随時更新させていただくことになっております。

二番目、がん相談支援センターの相談員の資質向上についてですが、今回で平成 26 年度の取り組みの計画調整ということで、相談員研修会の開催検討、就労支援研修会の開催検討、相談事例検討会の開催検討、がん関連講演会等への参加を検討することになっております。主なスケジュールについては、相談シートの標準化についての検討会を昨年度開催したわけですが、これについて検討会を夏頃に行うことと、相談員研修会を 11 月中旬に県立成人病センターで 11 月 14 日金曜日の予定ということになっております。

就労支援研修会、12 月中旬、これも県立成人病センターで 12 月 12 日の金曜日の予定になっております。相談事例検討会を行いまして、3 回目の部会で来年度の取組の検討をと思っております。

(3)がん患者サロンの普及およびがん患者力向上事業への協力等についてですが、第 1 回でがん患者サロン開設状況報告とがん患者力向上事業説明等を行うことにしております。第 2 回で実施状況と課題検討、第 3 回で来年度の取組の検討ということで、年間を通して患者力向上への協力等ということで、6 月 1 日にすでに落語「ガンタペール」というものを成人病センター研究所で実施しております。今後 7 月 21 日、9 月 23 日、11 月 30 日と確定しているものですが予定をしております。

(4)がんのセカンドオピニオン提示体制を有する医療機関の一覧の作成・共有・広報および希少がんに関することとして第 1 回で平成 26 年度更新についての調整、第 2 回で更新内容の確認、希少がん課題の検討を行うことを決定しております。第 3 回で来年度の取組の検討です。

(5)国立がん研究センター等研修派遣調整ということで、相談支援関係の会議があるのですが、調整の必要があれば部会で随時調整するというにしております。今年度については、9 月 27 日 28 日に行われます相談員の指導者フォローアップ研修のほうに、3 名の方が申し込みをしております。新川さんと柴田さんと岡村さんが出席の予定にしております。第 3 回で来年度の取組みの検討を予定しております。

(6)その他、滋賀の療養情報の評価・検証ですが、昨年度作成いたしまして、先日も NHK で放映されてから問い合わせがすごく、1 日にこちらのセンターに何十件の問い合わせがあり、送ってほしいとかどこでもらえるのかというのがかなりたくさんありました。こちらのほうの評価検証を行って行って、来年度の取組の検討を行っていきたくと思います。以上が全体スケジュールです。

次にアクションプランシートに入るのですが、その前に PDCA サイクルの関係がありますので、成人病センターの嶋田のほうからお願いします。

(協議会事務局)

成人病センターの嶋田と申します。がん診療連携協議会事務局のほうをやらせていただいております。では PDCA サイクルということで 1 冊つけております資料を使って説明させていただきます。

石見参事からも説明がありましたように、これからアクションプランシートの説明に入るのですが、

その中でこの1年間、どういったことを目標にして部会で活動をしていきたいと思いますかという議論が始まると思うのですが、その目標を作る上で、国の方ではこういう動きがありますというようなことを紹介しながら、こういったことを頭の片隅においていただいた上で、今年度の目標を皆さんで考えていただきたいと思ひまして、簡単に説明したいと思ひております。

まず資料にありますとおり、この部会をまとめる組織の企画運営委員会を先月開催しましたが、その中でPDCAサイクルについてということで議論をさせていただきました。PDCAサイクルというのが突然でてきているのですが、その内容がどういったものかというお話をする前に1枚めくっていただいたところから国の厚生労働省の資料が始まります。この資料の説明をした上でPDCAサイクルの説明に入りたいと思ひます。

国の動きというか国のがんに対する活動としましては、まずがん対策基本法がありまして、3ページに対策推進基本計画がありますが、これが第一次の計画、4ページの下にあるのは、第二次がん対策推進基本計画。3ページの上にもありますが、第一次の計画のときの国の評価としては、ある程度全国的にがんの拠点であるとか、そういった施設としては出来上がってきました。ただし今後第二期計画の中では質の向上をはかっていく必要がありますと思ひています。そしてその質の向上のためにどうしたらいいかという議論が5ページ目にありますが、国の動きとしては各地域にあります拠点病院の機能をさらに強化するために、拠点病院として指定するための要件を見直しました。それが5ページ目の下にありますが、今後はこういう方向でがん診療連携体制を作り上げていきますよというのが国の考えです。

5ページ目の下の④にPDCA体制の構築というのがあります。これからは各拠点病院ではPDCAサイクルを確保して、がんの診療の質を向上させていきたいと思いますというのが国の考え方です。国としても全体的にがんの質は現在どの程度あるのか、将来的にどういうのを目指していくのかということ、これからはできるだけ数値化できる目標を指標として考えてそれで実際評価する。どの程度目標を達成できたのかある程度数値化しないと、やはり評価するのは難しいというのがありますので、国としてもがんの診療について数値化できる目標を作っていきますよという動きがあります。今回はあまり詳しくは説明しないですが、こういった動きがあった中で実際数値化できる目標はどういうのがあるのだという話ですが、それがこの資料の12ページ目以降に書いてあります。いろんな項目の指標が並んでいます。これが国のほうの研究会で検討された数値化できるがん診療を評価する指標ということで、案としてあげられた指標の抜粋です。非常に多くの指標があります。がんの医療の機能に関する話であるとか、患者の満足度とか、多岐にわたって項目があげられています。今回相談支援部会ということですが、20ページ目以降には相談支援に関係するような項目もいくつかあがっています。例えば4dでは拠点病院のがん相談支援センターの利用者満足度であるとか、ピアサポーターによる相談支援を実施している拠点病院の割合とか、数値化できるような目標をこれから評価する指標として使っていこうというのが国の動きです。

こういった動きがあることを前提に資料の1ページを見ていただきたいと思ひます。こういった動きがある中で県の連携協議会としてはどういうふうに対応していくかという議論をした中で、まずそれぞれの拠点病院の中でPDCAサイクル、目標に対してこういった活動をしていこうとか来年度はこういうふうに変更していこうかという議論をしていただいて、それを病院間で情報共有することを連携協議会でしたいと思ひております。

そしてもうひとつ、今の拠点病院それぞれで作ったPDCAサイクルはあくまでもそれぞれの病院の中での目標であるとか活動評価になりますので、やはり県全体としても統一的な目標を作って滋賀県全体

でこの項目を改善していこうとか、そういったものをいくつか作ったほうが良いという議論になりました。せっかく滋賀県の連携協議会には6つの部会がありますので、それぞれの部会で何かひとつは今年度はこういったことを目標にしようとか、こういったことを目指していこうと数値化できる目標を作ってください、そしてそれに対して評価を行ってみようという議論を行いました。

というわけで、これからアクションプランシートを使って今年度はこういう目標でやっっていこうという議論をされると思います。その中で少なくとも一つは数値化できる目標を作ってください、それに対して年度末評価していただいて、来年度以降もその数字を使うのであれば来年はこういうことをすればもっと改善されるのではないかと、そういった議論が行いやすくなると思いますので、今回の部会では少なくともひとつ数値化できる目標を考えていただいて、1枚目の資料の④にあるのですが9月もしくは10月頃に予定しております第2回目の企画運営委員会の中で、こういった項目を数値化できる目標をそれぞれの部会で考えました、という報告をしていただきたいと思います。以上でPDCAサイクルの確保についての説明とさせていただきます。

(事務局)

今のPDCAサイクルの話をうけましてアクションプランシートの説明を進めていきたいのですが、上の項目の説明をさせていただきます。

平成25年でがん相談Q&Aの更新から相談員の資質向上、相談員研修の実施、相談員の研修の実施(基礎研修3修了者が、異職種2名以上(すべてのがん診療連携拠点病院))、相談支援事例検討会の開催、がん患者サロンの運営にかかる調整、滋賀の療養情報の評価検証、患者就労実態調査結果検討ということで、今年度についてはほとんど同じになるわけですが、先ほどの患者就労実態調査結果の検討というのが就労支援研修会の開催ということで今年度それに代わるものとしております。相談シートの標準化検討も行うこととしています。

スケジュールについては先ほど説明させていただいたことと同じですので省略させていただきます。先ほど説明がありましたように、部会ごとに数値化できる指標を一つ以上決めるということになっていますので、よろしく願いいたします。以上です。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。なかなか盛りだくさんですがご質問等ありませんか。今までスケジュールとかアクションプランシートについても、時系列的に図式化すると実際にわかりやすい利点があります。そこにPDCAサイクルを活用して業務を推進する。そのためには数値化できる目標を各病院で作らなさいということです。各病院で作ると例えば財務の視点から考えると病院の手術の評価として、数値目標として今年度の手術における売り上げは10億円、これも一つの財務の視点からみた指標です。でもそれはA病院でそうおっしゃるときに共通の認識としてB病院C病院がそれを共有することはできません。一方がん登録におきまして、院内がん登録の率を例えば8割まであげようとする病院がしたとすると、それは共通の項目としてすべての病院がそれにコミットできますね。情報交換しながら院内がん登録のノウハウを教えるとお互いが高まっていくことができます。そういうものが共通のPDCAの指標となりまして、今嶋田のほうから説明しました95の指標あるのですが国があげています。

これは国が考えたもので、滋賀県にそのままあてはまるものもあるし、なかなか高度先進医療とか臨床試験に関しては難しいですけれども、ある程度のことは国から降りてくると思います。それとは別に滋賀県におきましてPDCAサイクルを共通のものとしてまわすということが求められております。

私たちは6つの部会がありますから、とりあえずは一つ一つの部会から一つ以上共通的な数値目標を

あげようとそういうことが企画運営委員会で決まりました。そしてここにありますようにこの部会におきましても9月頃の第2回企画運営委員会までに皆さん考えていただいて、メールアドレス、メンバーリストを活用しまして事務のほうで集約をして決めていこうとそういう状況です。だいたいわかりましたでしょうか。個々の病院ではなくて共通的な数字ができるものを何か一つということで、皆さん帰っていただいてそれぞれの病院で考えていただいて。

ちなみに昨日診療支援部会がありまして、同じように診療支援部会からも一つ以上共通のものということで、みんなで考えようということになったのですが、その場で決まりました。もしこれはどうかというご提案があればここで協議、審議したいと思いますのでよろしくお願いします。

もちろん皆さんPDCAサイクルにつきましては仕組みはご存知ですね。新しいツールとして確立されて非常に有用です。都道府県の拠点を中心として協議会をまわしていくというふうに。

これは今のところ案は拠点病院の話ですが、必ずや県の指定で支援病院、こういうところの活動要因にも今後関係すると思いますので、支援病院の皆様方も指標、財務、顧客の管理等いろいろあると思いますが、相談支援部会で決まるものとか部会から決まるもの、少なくとも6つ、それと全体から一つ、それについても実際にまわしていただくのが準備体操になると思います。少し解説が長くなりましたけどよろしいでしょうか。この点に関しては、次第の中で出てくる場面もありますのでよろしくお願いします。二番目、がん相談Q&Aについてよろしくお願いします。

2 がん相談Q&Aについて

(1) Q&Aの修正・更新

(2) HPを随時更新予定（調整の必要な項目については、部会で検討）

(事務局)

がん相談Q&Aについてということで(1)として下のほうご覧いただきたいと思いますが、Q&Aの修正更新については随時行っておりますので、修正箇所や更新したほうが良いところがありましたら、私のほうまでメールで送っていただければと思います。よろしくお願いします。

ホームページの随時更新を予定しておりますので、調整の必要なものについては部会で検討していただいております。3、4ページにがん相談Q&Aを載せております。地域医療連携室という名前に変わりましたので直しております。3ページ、がん相談支援部会でも滋賀県の健康医療課ということで直させていただいております。気がついた点は直していきますが、変わった点とか直りきっていない点がありましたら直させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。がん相談Q&A非常に好評と聞いております。滋賀県のホームページをお借りいたしまして、その中でも滋賀県のがん診療連携協議会の中のさらに深いところがございます。3ページの上見てください。滋賀県のロゴの下にホームからずっとクリックしなければここにたどり着かない。非常にアンフレンドリーなところがあります。これに関しましては県とも協議会とも協議をした結果、7番その他の一番下にがん情報サイトの活用というのがありますが、よりわかりやすい県民の皆様方にお示ししやすいようにのっていますので、このQ&Aに関しても移行する予定です。事務的にわかるようなところはすべて事務的に行いましたけれども、この辺見ていただきまして、時代は流れるものですからちょっと古いのではないとか、このエビデンスは否定されているとかそういうのがありましたら重要項目ですので事務局のほうにご一報いただければと思います。よろしいでしょうか。つづき

ましてがん相談支援センターの相談員の資質向上についてよろしく申し上げます。

3 がん相談支援センター相談員の資質向上について

(1) がん相談支援センター相談員研修会の開催

(2) 就労支援研修会の開催

(3) がん相談事例検討会の開催

(4) がん相談シートの標準化検討

(事務局)

それではがん相談支援センターの相談員の資質向上についてということで、4つあげさせていただいております。まず一番目、がん相談支援センター相談員研修会の開催については今年度こちらの検討会を開催されて検討されている最中ですが、今の時点でわかっているものをご紹介いただきたいと思います。市立長浜病院からよろしく申し上げます。

(市立長浜病院)

今年の相談員研修会を担当させていただきます市立長浜病院の新川と申します。よろしく申し上げます。部員の中の変更がありまして担当者が変わりました、成人病センターの岡村さん、そして今回部員からはずれましたが大津赤十字病院の山本さんが担当してくれることになりましたので、今年3名で担当させていただきます。

日時は先ほど申しあげましたように11月14日の10時から11時まで、場所は成人病センターの東館1階の講堂でさせていただきます。対象者はがん相談に携わっておられる方で国立がん研究センター主催の相談員研修基礎1、2の参加者の是非があつたのですが、今回は参加の是非とかは送りませんのでがん相談に携わる方であればどなたでも参加できますので、たくさんの参加をお待ちしております。内容に関しては現在検討させていただいていますが、相談員としての心構えであるとか実際の事例を通したグループワークを予定しております。できる限り拠点病院、支援病院から最低でも一人は参加いただけますようにご協力いただけるかと思っておりますのでどうぞよろしく申し上げます。詳細に関してはまた資料を配布させていただきますので、どうぞよろしくご願ひいたします。以上です。

(事務局)

ありがとうございます。(2)就労支援研修会の開催としまして資料は5ページになります。岡村のほうからよろしく申し上げます。

(成人病センター)

成人病センターの相談支援センターの岡村です。よろしく申し上げます。平成26年度がん相談員就労支援研修会の開催要領案ですが、まだしつかりは決まっておりませんが今度12月12日10時から17時まで時間をいただいて研修会そのほか東館講堂でやりたいと思っております。内容としては相談支援センターの中で就労相談をやるのが新しい拠点病院の相談支援センターの要件にもあがっておりますので、がん患者さんの就労諸問題を知ることから、介入方法であったりとか、今回の参加者はがん相談員も社会保険労務士の方にも参加していただいて、一緒に検討会をしていけたらと思ひます。ぜひ12月12日相談員の方々がご参加いただければと思ひます。募集申し込みについては追ってご送付させていただきます。よろしく申し上げます。

(事務局)

それでは3番目のがん相談事例検討会の開催についてはこちらのほうは以前年に2回ほどやっていた

こともあるようなのですが、2回は大変だということで1回の開催になっておりまして、今年度まで1回の開催を予定しておりまして昨年と同様1月から2月、第3回の部会までに開催する予定にしております。詳細は決まっておりませんので、決まり次第お知らせしたいと思っております。

4番目のがん相談シートの標準化検討については、こちらも昨年度ワーキンググループを開催しまして検討していたのですが、今年度もまた1回検討会を行いたいと思っております。時期については4月から9月末までの夏の時期に開催したいと思っております。決まり次第ご案内させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。何かご質問等ございませぬか。岡村さん、演者については国立がん研究センターのほうで決定されましたか。

(成人病センター)

演者に関しては高橋班のほうから派遣していただけるということで連絡待ちです。7月末までには返事をいただけるということになっています。国がんではないもう一人の演者としては、平和堂の産業医の河津先生からお話いただこうかと思っております。

(鈴木部会長)

石見参事、がん相談シートに関することですが、国のほうからひな型が出る出ないの話がずっとありますが、そのへんは新しい情報がありますでしょうか。

(事務局)

新しい情報はきていないので、情報が入り次第部会の方には流させていただきたいと思っております。

(鈴木部会長)

他何かございませぬでしょうか。続きまして4番目、がん患者サロンの普及およびがん患者力向上事業への協力等についてよろしくお願いいたします。

4 がん患者サロンの普及およびがん患者力向上事業への協力等について

(がん患者団体連絡協議会)

日頃はがんサロンの運営に皆様ご協力いただきありがとうございます。25年度に初めて参加者の統計のカウントの仕方を統一して、間違えのないようにとらせていただきました。この中でみますと、今回初めて参加された方は何人いるかということを探ねておりまして、サロンの中で少しばらつきがありますが、皆さんピアサポーターとてがんばっておりますので、各サロン参加させていただいておりますけれども対応もとても充実しておりますし、皆さん喜んで帰っていただけるような状況で、こういった患者サロンが定着していてもっと広がっていけばいいなと思っております。

この中の6ページの一般参加者の横の世話人というのは、サロン当日にファシリテーターとか受付とか役割をもった方で交通費が発生している方です。その横の世話人以外のピアサポというの言葉通りで世話人をしていませんがピアサポーターさんが参加している場合です。指導者というのは私と末松というサロン統括部長が参った数字です。その横にありますのが、病院の中で相談支援センターの方とか事務局の方とか参加してくださっている場合の数字の集計です。今年度これをあげましたので、来年度も同じ方式で集計をとって行ってサロンの参加者がどのように変化していくか、見たいと思っております。変化と言いましたが、ピアサポさん今52名おりますので、もう少し参加者が増えても対応ができるような状況ですので、皆様のご協力のもとに参加者が増えるようにぜひご協力をお願いしたいと思っております。

ります。

7 ページ目は参加してくださった方にアンケートをとっております。ざっと言わせていただきますと、サロンいかがでしたかというのものには、大変よかった、よかったが大半で皆さん満足してくださっています。2 番目のフェイススケールを使った参加する前と後の気持ちを聞いております。アップ率が上昇したという答えをいただいておりますので、満足していただいていると思っております。

3 番目にサロンに参加したいと思いませんかという問いにも、ほぼ 90 パーセントの方がサロン終了後は参加したいと思っております。それとがん患者サロンのことをどこで知りましたかという問いにもやはりここで医師・看護師となっておりますが、相談支援センターのご紹介が多いように思います。それに反して残念ながらお医者様からの紹介というのはまだまだ少なく、一番患者さんの前におられるドクターのほうからも、がん患者サロン行ってみたらとお声をかけていただけたらありがたいなと思っております。

患者か家族かも聞いていますがほとんどが患者さんです。それから裏にいきますと、女性の方がこういう場はとても参加しやすく、男性はやはり行きにくいという傾向がこの数字からも見えております。参加者の年代もがんに関する年代と比例して参加者の年代が表れていると思います。部位も乳がん、肺がん、胃がん、大腸がんと罹患する数が多い方が参加されていると思います。部位もアンケートをとりました。これも来年度に向かってアンケートをとって比較対象として検討していきたいと思っております。

(がん患者団体連絡協議会)

がん患者団体連絡協議会の藤田です。昨年度がん患者大集会を催しまして、今年度は県のほうからも予算をいただきまして 3 回の講演を企画しております。ピアサポーターのフォローアップもあわせてやる予定です。6 月 1 日は成人病センターで「ガンタペール」というがんサロンに来られている方が創作落語を作られまして、森野福郎師匠が来てくださいました。とても好評で、先日 24 日に MBS の本社のほうで講演していただきました。笑いはとてもいいということで、来られていた方にも好評でした。今年度 7 月 21 日にがん相談支援、薬物療法の基礎、緩和ケアなどチラシのほう、このチラシはまだ案で訂正するところが一部あるのですが、このような予定でいたしております。参加申し込み用紙は後ろのほうに書かれてありまして、チラシが各病院に配られましたらご協力のほどよろしく申し上げます。以上です。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。がん患者サロンの普及およびがん患者力向上事業につきましてご質問ございますでしょうか。

(市立長浜病院)

サロンについてですが、ピアサポーターは今年度は養成をせずこれまでの人たちで回すということですね。一部に疲れてらっしゃる方もなくはないので、そのあたり上手に力を。

(がん患者団体連絡協議会)

サロンは本当にどういう方が参加されるかわからなくて、1 対 1 の面談ではなくてグループで話し合うのでとても緊張するし疲れる。疲れるということは、それだけすごく丁寧に参加者が皆さん少しでも満足してくれるようにということで、協力体制でやっているんですね。やはり上手くいく場合と上手くいかない場合が実際あるんですね。ファシリテーター、司会をした方が後で必ず反省会をしますので、反省会はいけなかったところはいけないと皆さんははっきり言います。ただ持ち帰らないようにしてそれをフォローしていくのですが、患者サロンは本当にとっても難しい。

(市立長浜病院)

スキルを持って経験たくさんお持ちの方が関わる必要もちろんあると思うのですが、ずっとエネルギーを持ち続けるのも大変な部分もあるだろうなと思います。

(がん患者団体連絡協議会)

今年フォローアップ研修させていただいて、事例検討会をしますのでよろしくお願いします。

(市立長浜病院)

私も末席を汚しますので。前回聞き落としたと思うのですが、前回6月の時の参加者はどれくらいでどんなふう集まっておいでになるか。催す場所によって参加しやすいにくいというのがありますでしょうから、そのあたりが今後どんな計画で主として大津方面で開催されることが多いと思うと、私たちの地域からの参加はなかなか厳しいのかなと思いつつ。

(がん患者団体連絡協議会)

6月1日はこちらでさせていただいたのですが、前半のフォローアップはピアサポーターだけで50名ほどの参加で

(市立長浜病院)

それは全県からですよ。

(がん患者団体連絡協議会)

はい。今回はこちらでチラシを配っていただいて、それでも同じくらい50名くらいの参加でした。

(市立長浜病院)

ピアサポーターが主でということになるんですね。むしろ患者力向上ならば一般の患者さんたちもたくさんリクルートしながら。ピアサポーターさんでこういう言い方したら失礼ですけど、患者力としては中の上以上の方のような気がするので、本当に全くの初心者という方たちにスキル、患者力を頑張ってもらおうというのが目標としては大事かなと思いました。

(がん患者団体連絡協議会)

患者力をつけようというイベントで全県から来てもらうのですが、確かにおっしゃられるように、会場は一箇所にしたほうがわかりやすいかなというのがあって、コラボ滋賀に今回したのですが、次の企画を何かする場合には、滋賀県内で場所も変えてやってみてもいいかなという気がするので、今後もよろしくお願いします。

(市立長浜病院)

大変大事な試みだと思いますのでぜひ全県を充実させていけるようにお願いしたいと思います。

(鈴木部会長)

今、大事なことを二つ言われましたけど、私もそれに関連して教えてほしいのですが、まずピアサポーターの皆さん非常な努力をされて皆さんお疲れになっていると思うのですが、6ページの表を見ますと例えばざっと指導者あたりの患者さんの数について、例えばゆかい(癒会)こうがに関しては非常に少ない指導者で、指導者さん本人はかなりお疲れとかそういうのは。

(がん患者団体連絡協議会)

甲賀はピアサポーターが8人いるので、割とそういう面ではローテーション組んでやっております。甲賀の参加者はリピーターが本当に多くて、先月も19名の参加者でいろんな意見がでたりします。たまには個人的に聞いてあげたほうがいいなと思ったときは、ちょっとグループを半分に分けるなど、あまり多すぎると意見が十分に聞けないという状況になったら、その時はいろいろ工夫してみます。

(鈴木部会長)

来られる方が多ければ多いほどいいということにはならないかもしれませんが、やはりかなり来ていただきたい。となりますと医療圏ごとに参加者数字がでますので PDCA サイクルの目標値にも活用できるかもしれない。たちまちなじまないかもしれませんが。この資料は初めてでまして、解釈をすると今後楽しみになってきます。

もう一点は東近江に関して少し弱いところがあるかなど。伏木先生おっしゃるように、たとえば患者力向上事業に関しては将来的には地域のローテーションを考えられているとは思いますが、現時点において東近江の状況を教えてください。

(がん患者団体連絡協議会)

東近江圏域のサロンはまだありません。それで東近江医療センターと近江八幡総合医療センターどちらかでサロンを開催するという話くらいは部会でして、私たちは「どちらですか決めてください」ということを部会で発言していると思います。両方の病院から問い合わせ等は昨年度あったのですが、それ以降はまだ何もありません。それは目標であがってますよね。

(鈴木部会長)

奥井さん、行政の立場でそのへん行政が関与してできるかご意見いただけますか。

(滋賀県健康医療福祉部)

先日も県庁にお電話がありまして東近江圏内の 70 代の女性からでした。サロンというものが東近江にはないと。自分の動ける距離を考えると遠くまではいけない。何とか自分の住んでいる八日市近辺とか近江八幡ぐらいなら行けるので、そこらあたりでサロンがあればいいのになということと、講演会や県民公開講座、そういうのは自分のところにはないと。2 月には議員連盟が開催されたこともあったとよくご存知でした。あれも初めて知った地元での開催だったと。できるだけ県内均等には難しいかもしれないけど開いてほしいな、とそういうご意見を聞いたところです。現在のがん対策推進計画の中でも東近江の中にはサロンがないので、それを開設する方向で検討を行っていきますということを明記しております。

(鈴木部会長)

ありがとうございます。そういったところで地域の病院さんと患者会との個別の折衝だけではなく、計画にも明記されているということですので、県も主体的に関わっていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

7 ページですね、アンケート結果ですが、アップ率が 4 と言うのが、これを見ますともものすごく塗炭の苦しみの方が本当に爽やかになられてという方が何人かおられる。それとアップ率が 2 以上に関しましては 3 分の 1 ということで、ひとつ上にどんな精度でもどんな過程でもひとつ上がるのは当たり前なのですが、特進するというのはとても意味のあることで、3 分の 1 というのはこれは努力の賜物だと思いますので、非常に感動しました。リピーターの率も非常に高い。協議会としてもできる限り一緒にやったいこうと思いますのでよろしくをお願いします。他いかがですか。

(がん患者団体連絡協議会)

PDCA のほうで出ています拠点病院のサロンという話がありますが、先ほどの話のように東近江や支援病院のサロンの拡大ということは、いかがでしょうか。

(鈴木部会長)

そうですね。県全体のサロンに関する PDCA は当然 7 分の 7 というのが数値目標、7 分の 6 ですかね。

高島は今始まったところでどんどん進めていかれると思いますので今は 7 分の 6 です。患者会の PDCA として。次にセカンドオピニオン外来についてよろしくお願ひします。

5 セカンドオピニオン外来について

(1) がんに関するセカンドオピニオン対応医療機関・窓口一覧の確認

(2) 平成 25 年度セカンドオピニオン受入・照会状況

(事務局)

5 番目のセカンドオピニオン外来についてということで、(1)がんに関するセカンドオピニオン対応医療機関・窓口一覧の確認ということで、資料の 11、12 ページをご覧くださいと思います。こちらのほうが Q&A と同じく滋賀県のホームページにありますがんに関するセカンドオピニオン対応医療機関・窓口一覧がありまして、11、12 ページについては気がついたところはこちらで修正させていただいております。それを今現在ということで載せさせていただいております。今見ていただいて、直しきれていないとか、対応時間が変わったとかありましたら事務局までお申し出いただいたらありがたいと思います。また持ち帰りまして修正等ありましたらご連絡いただきまして、対応させていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

次の(2)平成 25 年度セカンドオピニオン受入・紹介状況についてということで、がん診療連携拠点病院と支援病院と 12 病院に調査依頼をしまして、それを取りまとめたものが 13、14 ページとなっております。13 ページについては平成 25 年度におけるセカンドオピニオン受入等紹介状況ということで、左が他院から自院への受入状況ということで、右が自院から他院への紹介状況です。左側が 24 年度、右側が 25 年度の状況になってきます。見ているとあまり変わっていないところが多いのですが、かなり増えているところもございますので、それぞれ変わっているところがあります。まだゼロのところもあるのですがこういった状況になっております。

14 ページの中身ですが、セカンドオピニオンの利用状況の対象疾患別の受入状況ということで、肺がんから血液腫瘍それぞれのものをそれぞれの病院ごとに書いていただいております。調査結果については以上です。

(鈴木部会長)

ご意見等ございませんでしょうか。セカンドオピニオンに関しましては、国のほうもかなり期待しているところがありますのでよろしくお願ひします。ゼロというのがございますがゼロには二つの意味があるということは常々申しておりましたが、ある意味こういったゼロに関する内容の切り取りを進めていく可能性もありますのでよろしくお願ひします。

次に第 6 番目、第 3 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会の報告よろしくお願ひします。

6 第 3 回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会の報告

(成人病センター)

ご報告させていただきます。第 3 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の情報提供・相談支援部会のほうに、部会長である鈴木副院長と地域医療連携室の室長である山本医師と私と 3 名が滋賀県から参加いたしました。開催日時は 6 月 12 日 13 時から 16 時に国立がん研究センターで行われました。参加者は 113 名という中で活発な議論が行われました。それに関してお手元の資料の 15、16 ページは

この会議が終わりました後のホームページの内容になっておりますので、この資料におきましては議論等なされた後の内容と理解いただければありがたいですし、それ以降の 18、19 ページにおきましては当日に配布された資料ですので、これは議論等する前の段階の資料ということでご理解いただければありがたいです。

まず当日ですが今回第 3 回目ということでしたので、第 2 回の活動の確認がありました後に平成 26 年 1 月に出されました新整備指針と当部会が事前にアンケート調査を行った結果を踏まえて、現状の課題を明確にし、その解決に向けた提案を親会である会にどのような内容で持ち上げようかという議論がされました。

課題の内容が 5 点ございまして、1 点は就労支援と患者支援の活動について、2 点目は希少がんへの相談への対応について、3 点目は相談者からのフィードバックの体制、相談員の質の担保について、4 点目は広報・周知活動と広域での相談支援体制の質の担保についてということで、地域相談支援フォーラムを実施されました二つのブロックから活動報告がありました。

5 点目が相談件数のカウントについてというこの 5 点が課題として出されまして、それぞれの現場の取組みという状況が示されました。その課題など出された結果、18、19 ページの資料の中の一番下の 2 番、引き続きの検討課題を続けるということで、(2)(3)におきましては親会であります都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会のほうへ提案をということで出されるようになりまして、(1)については相談件数のカウント等に関わる話でありましたけれども、がん相談支援センターが唯一相談対応を院外向けにもしているということとその点に着目されて、ID のない方、つまりその病院に患者登録のない方への相談をしているというところの評価しましょうという提案をされたのですが、それだけで相談支援センターの一つの評価とするには無理があるのではないかというような議論がされましたので、今回の部会で第 4 回目以降に引き続き検討を継続するというので、この内容については提案をしたいという方向に最終的にはなりました。

今回の会議に参加しました私の感想ですが、都道府県がん診療連携拠点病院として国および県からおりてきた補助金の有効活用や質の向上の評価指標が問われているということで、その数値を何ではかるか、公平な物差しを見つけるのはかなり難しいということが、この会議に参加して理解できたかなと思います。

新整備指針での強化内容は、就労支援、希少がん、広報周知、相談員の質向上であることが理解できました。院内院外患者および広く県民に対して医療介護福祉行政等関係者が連携共同し、滋賀県が見本となるようになりたいし、多くの人々の支援者に自らなっていけたらと感じました。

当院が都道府県がん診療連携拠点病院として取り組まなければならない課題の一つは、職員への広報と周知、院内の広報であると思ひまして、すでに皆さんに協力いただきましてマスメディアを使いましてがん相談支援センターいろいろ広報活動してまいりましたけれども、やはり院内の職員および地域住民の方へも広報をどのようにしていったらいいか、皆さま関係の方々と相談しながら計画的に進めていかなければならないと考えました。

また県内の拠点病院と情報交換させていただく中で、お互いの活動内容をなかなか知る機会が少ないので、共有することで何かいさせるものが見いだせ、認知度が上がればいいと思っております。県民の方への広報も行政の方患者会の方と連携し推進していかなければいけないと思ひました。また今年度他施設のがん専門相談員の方の部署への異動によりまして、県内の相談員の質向上については厳しい条件がありますが、新たなメンバーの方々と力を合わせていきながら、より質が高まるように努力していけ

ればということと、質の担保についてはなかなか難しい組織的な考え方もあるかと思っておりますので、難しい点であるかと感じて帰ってまいりました。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。少し付け加えますと、非常に長い名前の部会なのですが、組織図的には私たちの親部会が企画運営委員会、その上に協議会があるのですが、直接つながっているのが国がんのこの部会になります。51の都道府県の拠点になりますが活発に議論しております。今三輪さんのほうからお話がありましたように、特に大事なところは16ページ、資料8がん相談支援センターの活動状況に関するアンケート調査をぜひご覧ください。皆様方の病院に関わるものですし、比較いろいろできますのでぜひご覧ください。

17ページ、参考資料3問題になっております相談件数のカウントの方法、これもきちっと定義付けられたPDCAの指標になるのですが、なかなか難しい。その議論がどうなっているか皆様方も興味あるかと思っております。少し長いですがよろしくお願ひします。

三輪さんの感想にもありましたように、本当にそれまでこの仲間が異動でこの場からおられなくなる、非常に寂しいですが、ここで培われたノウハウを新しい場所で生かしていると思われまして、新しく来られた方と一緒に仕事ができることをうれしく思っております。後になってしまっていますが、ここで新しいメンバーを紹介させていただきます。

(新しい部会員の紹介)

国のほうの相談支援に関しましては先ほど挨拶で申しましたようにたくさんの課題がきております。それだけ国民の皆様が我々に期待している表れでもあります。実際にどういう事業をやっていくかに関して中央ではわからないことが多い。だから私たちの知恵をかりるために資料9、10をみてください。20ページから24ページにあります。相談支援センターの名前を広めるためにそのフォーラムの募集をされております。相談支援センターの更なる機能強化に結びつくような新企画、普通の企画ではなくてあっと驚くような新企画、これが何かというと全国で1件だけです。高山先生もおっしゃいましたが、私たちも全然考えつかないような、部内で検討していただいてこれはいけるというのがありましたらメーリングリストなどで提案いただいて、県として検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

そうしましたら7番目、その他にうつりたいと思ひます。まず図書館との交流会についてよろしくお願ひします。

7 その他

- ・図書館との交流会について
- ・がん対策イベントおよびがん医療フォーラムについて
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2014について
- ・就労支援について
- ・「がん情報サイト(仮称)」について

(成人病センター)

今年度私成人病センターの三輪が、図書館との交流会をがん相談員とするという企画において、相談員さん側のとりまとめ役を担っておりますので、私のほうからご連絡などさせていただきます。今回は第2回目が開催されることになっておりまして、皆様のお手元に案内チラシが入っているかと思ひま

すので、25 ページに1枚ものが入っておりますのでご確認いただければと思います。

日時が7月11日金曜日13時から17時、守山市立図書館で行われます。タイトルが「がん相談支援センターと図書館との地域連携をさぐる」ということで、募集についてはがん相談支援センターさんにおいては締め切りまして、第1回目と同じくがん拠点病院さん向けの募集を行いました。支援病院さんに関しましては、第3回はどうかという議論が今後もされるかと思っておりますので、そのときに参加していただける方向で継続する内容だと思っております。今回2回目までは拠点病院の相談員さんということで、今現在各病院さんから1名以上参加していただけるということで、合計7名の参加がありまして、がん相談員から図書館員さん向けの講義という内容では、昨年度までがん相談専門員をしておりました大津赤十字病院の山本さんが、そちらの講師として参加していただける確認がとれております。プログラムの内容等は参考でご覧いただければと思います。やはり県の推進計画の中での情報提供では、がん相談支援センターと図書館の立場としては共通のテーマになっておりますので、お互い協働しながらその方に即した情報提供が必要な方に届けられる方法がないかどうか、還元できるものが持ち帰れたらと思います。またご報告ができることと思っております。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。三輪さん言われましたように、滋賀県の推進計画、図書館と協働して、また議員立法でできました滋賀県がん対策推進条例、ここにおきましても、連携機関として、そういう意味合いがございます。従いまして、今回は拠点病院だけですが3回目以降は支援病院の皆様も一緒に参加していただけたらと思います。ちなみに全国都道府県で滋賀県は一人あたり1年間図書館で借りる冊数は全国1位です。これが国と結びついたかどうかはわかりませんが期待したいと思っております。

次ががん対策イベントおよびがん医療フォーラムについてよろしく申し上げます。

(協議会事務局)

26 ページ、がん医療フォーラムにつきましては、毎年度滋賀県がん診療連携協議会で開催させていただいております。今年度も開催する予定でしてこの内容(案)としておりますが来月の7月11日に滋賀県がん診療連携協議会の開催を予定しておりまして、そこで正式に提案して最終決定と考えております。現段階の案の内容ですが、今年度の開催日については、滋賀県のがんの条例ができ「がん向きあう週間」というのが2月4日から10日と設定されましたので、それにあわせて2月8日に開催したいと思っております。

今回の内容についてですが、今まで過去5回やってきましたことを27、28 ページに整理させてもらっています。今までのがん医療フォーラムでは、医療というがんの治療について等をメインでやってきたのですが、昨年度の参加者のアンケートを載せていますが、内容を見ておきますと、30歳代、40歳代、50歳代の参加者が多かったり、就労支援についても話が聞きたいという意見もありまして、国のほうとしてもがんサバイバーとして就労支援は注目され始めているということ踏まえまして、今年度のテーマとしては「がんになっても安心して働くことができる滋賀県を目指して」という題名で就労支援をテーマにしてはどうかと考えています。そして基調講演の演者としては今現在高橋都先生にお願いできないかなと相談させてもらっています。当然がんの医療についても話を聞きたいという方もおられると思いますので、医療講演として働き盛りの世代に多いがんということで、肺がん、大腸がん、乳がんを中心に話をさせていただいてはどうかと。この演者としては、がん診療連携協議会のメンバーのどなたかにお願いしたいと考えております。最後のシンポジウムでは今回の基調講演をしていただいた

先生やそれぞれの病院の先生とか社会医療福祉士の方であるとかそういった方々でシンポジウムも設けて、会場からの質問等も受け付けて話を盛り上げていくことができるといいなと考えております。

そして最後に備考欄にあります、健康づくり財団が実行委員会をしております滋賀県がん対策推進イベントと同じ場所で開催してはどうかと今現在調整を行っております。特に2月4日から2月10日というのががん向き週間ということで、いろんなところでイベントをされていることもありますので、お互い相乗効果をはかれるいい機会であるので、一緒にやっていけるといいと考えております。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。今現在フォーラムに関して案の状態ですがこれを骨子に計画しております。企画運営委員会ではこれで承認されまして、協議会において、7月11日にご提案するという方向になっております。この件に関して何かありますでしょうか。

(市立長浜病院)

29ページの円グラフを見ますと、居住地について津市内の方がほとんどで半分、後の市町は数パーセントずつ、どちらかというと南部に偏っていないか等も考えながら、これまでの開催場所を見ますとほとんどは津市内、近江八幡は男女共同参画センターがありますかね。そういう意味では全県の意識を高めていこうということであれば、もう少し全県的に回っていただく等も必要かなと。あるいは何度かそういうあまり情報が届かない人のために何かしていただきたりはないのかなと。もしかして、可能かどうかわかりませんが、集まるかどうかわかりませんが、遠隔の場所からの質問とか、確か全がん協の取組みの中には、全国いろんなところで地域の参加場所で参加できる形もありますよね。滋賀県の中のネットワークを上手く活用して仕組みがないかもしれませんが、そういうものも充実させていただく必要があるのではとかいろんなことを思ったりもしています。

(鈴木部会長)

貴重な意見ありがとうございます。確かに健康づくり財団と診療連携協議会とやっていくようになると思います。たとえば健康づくり財団は去年は米原でやりました。

(市立長浜病院)

あの時の参加者はどうだったのかとかグラフを出してほしい。

(鈴木部会長)

そうですね。私自身東西南北均てんして啓発活動をとっておりますので、ご意見に関しては真摯に受け止めたいと思います。とりあえずは7月13日に伏木先生にがんばっていただきますので。他何かございませんでしょうか。

(市立長浜病院)

びわ湖放送が上手く行動していただいたりとか、あってもいいですね。

(鈴木部会長)

そうしましたらリレーフォーアジア滋賀2014についてお願いします。

(協議会事務局)

リレーフォーライフジャパンということで、35ページから38ページにパンフレットのコピーをつけさせてもらっています。リレーフォーライフジャパンについては、昨年度も協議会の場で話していると聞いていますが、今年度滋賀県で初めて37ページにあります10月25・26日に近江八幡の休暇村で開催されることになりました。25日の昼から始めて24時間続けて26日の昼に終わる、というような24時間のイベントになっております。今回リレー・フォー・ライフ滋賀の実行委員会から県の連携協議

会としてもブースを一つ作っていただけるという話を伺っております。県の滋賀県がん診療連携協議会としても何かしらこのイベントに関わっていきたいと考えております。この会議が終わった後に拠点病院の方と支援病院の方に残っていただいて、少し簡単な説明と面白いアイデアがあれば出していただきたいと思います。実行委員会でも決まっていないことがあるようで、詳しいことはわからないこともあるようなのですが、意見交換をさせていただきたいと思っております。

近日中に紹介があると聞いておりますが、リレー・フォー・ライフ・ジャパンの中でウォーキング、ルミナリエというイベントもあると聞いております。そういったものが正式に決まりましたら、有志で参加していただける方の募集すると聞いておりますので、そのときには病院の皆様にも情報を流したいと思っておりますので、ぜひとも各病院のほうでも周知とともに参加の募集も協力していただけるとありがたいと思っております。以上です。

(鈴木部会長)

ありがとうございます。今現在いろんなアイデアが取り込まれている途上ですので情報に関してはそのつどお知らせできると思います。

次に就労支援に関して、「がん情報サイト」に関してよろしく申し上げます。

(県健康医療福祉部)

では総合的ながん対策の推進という資料、昨年度の最後の部会でもこの資料を使ってご説明しましたが、初めての方もいらっしゃると思いますので全体を簡単にお伝えします。

これは平成 26 年度の滋賀県のがん対策の指標の内容です。昨年末にできました滋賀県がん対策推進基金ができて、財源が確保できたわけです。昨年度よりは拡充をしております。上から 1 番目から 5 番目までありますが、まず 1 番目のがんの予防と早期発見の中のがん対策情報サイトの開設というのがあります。こちらは定期的に一番の箱に書いてありますがその下の 2 番 3 番、これらにすべてに関わってくることでございます。これについては詳しくご紹介したいと思います。

○二つ目、マスメディアを活用した広報啓発です。なかなかがんに関心のない県民の方が多かったので、がん検診の受診率の向上やがんになっても前向きに生きるということをテーマに、JR の社内広告の宣伝をすることと、2 月に「がんと向きあう週間」の頃には BBC のテレビ放送をしたいと考えております。

3 番目の患者家族の苦痛の軽減と生活の質の向上です。先ほどからご紹介がありました患者力向上のための講演会・情報発信をがん患者団体連絡協議会が新しく着手します。県から補助を出させていただきます。講演会については、広くお知らせしたいという考えから 7 月 8 日に嘉田知事による報道機関に対する情報提供を考えております。情報発信のほうはがん患者団体連絡協議会さんが、新しくホームページをお作りになるご予定です。

4 番、患者家族を支える社会の構築ですが、一つ目、がん患者就労支援、支援関係者への研修会、先ほど診療連携協議会でも計画をしていますが県庁でも計画しています。この資料の 21 ページご覧いただきたいと思います。役割分担を打ち合わせしまして、県庁で開く分は事業所向けに開催したいと考えております。もしよろしければ病院の関係の皆さんも、こんなことを事業所向けに研修しているのかと教えていただけたらと思いますので、できればのぞいてみていただけたらと思います。

昨年度はできれば事業所向けと病院の関係者向けと二つに分けることなく、合同でしたらどうかという意見をこの場でいただいておりましたがあちこちに相談しました結果、合同研修は互いにレベルというか関心度が異なるので、時期尚早ではないかというご意見があったことから 27 年度以降に持ち越せ

ればなど考えております。研修会の内容をご紹介しますと、まず3番に日時・場所・内容・対象者を書いてありますが、1日目は産業保険スタッフ向け、具体的には企業の中の看護師さん、衛生管理士さんを対象とする研修会です。地域に分けて考えておまして、11月6日は南部の方にお集まりいただきまして大津の会場、2日目の11月26日には彦根の会場、南と北と一箇所ずつで開きたいと考えております。内容はいくつか書いてありますが、医療機関の連携の仕方と情報共有シートというのを今年度作成していきたいと考えていますので、そのお披露目の場としたいと思います。相談窓口の活用を事業所向けにアピールしたいと考えております。相談支援センターをご利用くださいというアナウンスをさせていただきたいと思っております。

2回目は事業所の経営者向けの内容で1月ごろに開催したいと考えております。ここでは内容はがんの正しい理解や関心を高めていただきたいということを狙っており、事例紹介やよい取り組みの例を紹介したいと考えています。申し込みなど具体的なことが決まりましたら改めてご案内したいと思っております。

今のところ実施主体と書いてありますが、産業保険総合支援センターですとか協同というかご協力いただいで開催したいと思っております。できればこの案内を事業所に送りますので、2月8日のフォーラムとかイベントの案内等も同封する等して事業所の方にも発信できたらと思います。以上ががんの就労支援の関係です。

1ページ4番の○の一つ目、アンダーラインを引いている医療と職場の連携促進というのは研修のところでもお話ししましたが、ここの連携が上手くいっていないということから、情報を共有するための書面を作っていきたいと考えております。小児がん患者さんへの支援、がん教育の推進というのも新たな取り組みです。がん教育の推進について少しご紹介しますと、今年度は県の教育委員会においてモデル校を4校選定しまして、小学校2箇所、中学校2箇所でがん教育のモデル事業が行われることになりました。学校の選定も終わりました、早いところでは7月から授業がスタートする予定です。学校内での取り組みの他に、学校外でもできるだけがんの情報を手に入れる場を広げていきたいと考えておりますので、三輪さんからご案内がありました交流会でもそういう取り組みを広げていってもらえるとありがたいなと思います。

3つ目のがん普及啓発の促進についてですが、がんと向きあう週間については、先ほど嶋田さんからご説明があったと思います。

5つ目のがん対策の総合的な推進というところでお願いですが、民間団体等が取り組む自主事業への支援というのをあげております。22、23ページご覧ください。アンケート、がん対策推進基金を活用する事業についてお願いですが、7月18日までにFAXでご回答いただけたらありがたいと思います。がん対策を充実するものに滋賀県がん対策推進基金を創設しまして、現在は平成27年度にこの基金を使ってどのような補助事業をしていくか検討しております。検討にあたって、県庁の中だけで考えていても豊かな発想ができませんし、できるだけいろんな立場の方からご意見をいただいで考えていきたいなと思っておりますので、お知恵を拝借できたらと思います。基金を活用する事業が1から5番のようなものを想定しております。23ページに書いてあります解答用紙でぜひご意見をいただきたいと思っております。決してこの補助事業の申込書になるものでもないのですが、こういうものを募っていったらどうか、アイデアとして参考にさせていただきますので、必ず次につながると信じて熱い意見を出していただいたら幸いです。

最初に申しましたがん対策情報サイトですが、資料2ページから20ページまでございます。お帰り

になってからご確認いただけたらと思います。3 ページ、今年度がん対策情報サイトを開設することとなりました。方針としては2 ページにありますように県民の方に対して親しみやすく、見やすく、わかりやすく情報を提供していきたいなと思っております。

滋賀県の現状のホームページですが、3 ページに現状・滋賀県とありますが、県のホームページからこういうところをたどってようやくホームページに行き着くという本当に知る人ぞ知るというホームページになってしまっているの、わかりやすく見つけやすくしたいと思っております。2 ページ戻っていただきまして予算が300万円、ページ数に換算しますと100ページから200ページ程度作れるかなと思っております。3番にあるようなスケジュールで年度内の完成を目指しています。

4番でがん診療連携協議会のほうでご協力をお願いしたいことを①から④に書いてありますが、①業者選定に参加、②検討会の参加については調整を進めてくださっておりますので、皆さんのご意見を反映してこういう情報を載せたらいい、こういう情報があれば助かるというご意見をいただけたらと思います。また後の資料のほうに目を通していただけたらと思います。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。県のほうから最新のがんに対する対策を含めて紹介していただきました。最後に皆様方にリハビリテーションセンター研修一覧の資料をお配りさせていただいています。

(事務局)

滋賀県立リハビリテーションセンターの研修一覧ということで、今年度新たにテーマ別コースとがんコースというのが新たに設置されまして、ぜひともこういうことをお願いしたいということでしたので、がんコース9月13日土曜日に開催される予定で定員は40名です。8月29日金曜日まで申し込みとなっております。資料の一番下に電話番号、ホームページ等載っていますので、こちらのほうに問い合わせしていただけたらと思います。それぞれの機関のほうでお知らせをお願いしたいと思います。

(鈴木部会長)

ありがとうございました。

(がん患者団体連絡協議会)

院内の図書館も古い文献を手にとっている患者さんがいて、やはり前のものでこういう治療は今とは違うかなということがあったので、がん治療は本当に日進月歩で進んでいるので、がんに関する図書というのは選定とか慎重にしないと、図書館にあると皆さん結構安心して読みますので、そのへんを丁寧にみていただいたほうがいいかなというのを体験しましたので。

(鈴木部会長)

三輪さんそのへんよろしく申し上げます。最後にご挨拶を芥田先生申し上げます。

(大津赤十字病院)

副会長の大津赤十字病院の芥田です。この部会は次々と新しいテーマを出し、それなりに実績もあがっていて、私ども他の部会に出ています、非常に充実しているといつも感心しております。今日も患者会のほうからサロンの数値を教えてくださいとびっくりしたというか、感想はたくさんあるのですが、鈴木部会長がおっしゃいましたように、相談支援は第二期のがん対策の一つの目玉にもなっています。その中で就労支援とか新しいテーマも出てきていますし、これまでの相談支援に関してもより充実をとということで、なかなか私みたいに普段は他の臨床ばかりやっていて申し訳ないですが、そのときだけ頭を切り替えているようなところもありますが、皆さん協力して滋賀県の相談支援事業と言いますか、各病院の相談支援の充実がはかられていくことが頼もしいと思っておりますので、皆さんがんばりましょうとい

う感想というか、しめというかそういうお話で。これだけたくさんの方をこの時間で討議できたのは有効だったと思います。また引き続きよろしく申し上げます。ありがとうございました。

(鈴木部会長)

ではこれで平成 26 年度第 1 回相談支援部会を終わります。ありがとうございました。